



きずな（第31号）

創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合
〒120-0036
東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命ビル
電話番号(03)3879-5141
発行責任者 戸島伸一

～協組スケジュール～

- 10月25日 執行部会・常任理事会
- 理事会
- 11月 1日 執行部会・常任理事会
- 11月 7日 バッチャープラント講習会
- 11月15日 執行部会・常任理事会
- 技術常任部会
- 11月16日 営業全体会議
- 11月22日 執行部会・常任理事会
- 理事会
- 11月29日 執行部会・常任理事会
- 技術幹事会
- 12月 6日 執行部会・常任理事会
- 12月13日 執行部会・常任理事会
- 技術常任部会
- 12月14日 営業全体会議
- 12月20日 執行部会・常任理事会
- 理事会
- 12月28日 仕事納め
- 1月 4日 仕事始め

登録販売店会議を開催

『生コンクリート価格改定』



東関東生コン協同組合では、平成29年9月27日開催の理事会において、「生コンクリート価格改定」を決定いたしました。

1. 値上額：1m³当り 700円（標準品18-18-20N）
2. 実施時期：平成30年2月1日以降の引合受付分より

平成26年7月に生コンクリート価格の改定(値上げ)を行なって以来、3年ぶりの改定になりますが、前回の価格改定後に更なる輸送コストの増大や原材料アップに直面し、厳しい経営状態が続いてきました。

特に運転手の離職者増加・高齢化によって、生コンミキサー車両や骨材運搬のダンプ車両に必要な運転手員数を確保できない状態が起きております。

このため、骨材メーカーからは輸送問題を理由とした大幅な値上げ要請を受ける一方、生コン輸送では安定供給に支障がでる事態となっています。

また、各工場では設備更新がままならない中で設備老朽化が進み、メンテナンス費用の増大もさることながら、早晚設備更新が必要となることが予見されます。

生コン経営において、これらのコストアップは自社で吸収できるレベルを超えており、限界状態にあることから止む



無く販売価格への転嫁をお願いせざるを得ない事態となりました。

生コンクリートの品質確保や安定供給維持のため、今回の価格改定に至ったものです。

なお、価格改定を確実なものとするには、流通部門との連携が不可欠であるため、9月27日の理事会終了後に登録販売店会議を開催し、価格改定に至った経緯・事情を説明し、得意先である建設業界への対応を製販一体となって行なう事に理解を求めました。

《理事交代》

7月26日付

就任理事名	退任理事名	会社名
岡村 一弘	張替 幹雄	横山産業株

9月27日付

就任理事名	退任理事名	会社名
片山 一男	迫 勝則	首都圏コンクリート株

《就任理事挨拶》

岡村 一弘理事

この度、理事に選出されました横山産業株式会社の岡村一弘と申します。



私はこれまで、かれこれ40年間生コン業界に携わってきました。

そのうち35年間は、埼玉協組に従事していました。

これからは、今まで培ってきた経験を活かし、微力ながら協組運営の発展に貢献出来るよう、頑張っていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

片山 一男理事

この度、理事に選出頂きました首都圏コンクリート株式会社の片山でございます。



これまで、7年10か月の間、営業委員会(営業全体会議)に所属させて頂きました。今後とも東関東協組の発展のために微力ながら頑張りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

＊＊年末年始工場休転日のお知らせ＊＊

平成29年度年末年始工場休転日は11月上旬頃ホームページにて掲載させて頂きますので宜しくお願い致します。

《理事リレー》

時代の変遷 !!

城北小野田レミコン 株式会社
代表取締役社長 松下 雅文



私と 1979 年に当時の小野田セメント(現太平洋セメント)に入社して以来、会社の先輩諸兄や私の関係者及び家族に大変お世話になり“生かされて”きた。1960 年 5 月 18 日生まれの鼠年で満 57 歳を迎えていたが、この間の変遷を搔い摘んで振り返りたい。

・私の生まれは、九州大分県の片田舎である津久見市である。既に鬼籍である父の実家は漁師の“若戎という網元”だったことから、一本釣りなどで賑わい小学生の頃から海と共に育ったが、故森山昭雄氏から魚の食べ方が上手なのは俺の知っている中で一番だ！と“褒められた”のはこの一回しかない…。その故郷の若戎も解散し今は閑散とした港町となっているが、自然相手の漁業も時代と共に廃れていくのは寂しい限りである。

・津久見はセメントとみかんの町として有名？であるが、太平洋セメント社では最大規模を誇る大分工場(旧津久見工場)がある。小さい頃は周辺の屋根瓦が白くて…瓦は白いものとの認識もあったが、今ではその面影は微塵もない。世の中も遡り変り技術の革新と循環型社会と称する取り組みへの意識変化によるものであることは言うまでもない。やはり瓦は黒かつた！

・1984 年には、セメント工場の運転指導でイラク国北部の油田地帯であるキルクーク地区アルタミンという場所にて約一年勤務をさせて頂いた。当時はイラン・イラク戦争の最中であったが、現地は落着いており休日の金曜日には何も娯楽がないので、土漠(砂漠ではない)に出向いて“サソリ取り”に興じていた。そのキルクーク周辺は幾度もの戦乱と最近では IS(イスラム国)によるメソポタミヤ遺跡の破壊などにより今は見る影もない。我々日本人には及びもつかないが、宗教とは如何なるものか？を考えさせられてしまう 30 年の時の流れである。



・サラリーマン生活の終盤では生コン業界にお世話になっているが、東京協組と埼玉中央協組の常任理事としても諸活動に参画させて頂いている。誤解を恐れずこの業界を一言で表せば“属人的”である。これは、決してネガティブな意図ではなく“昭和の匂いを感じる業界”もある。どの業種でも人間性が仕事のベースにあるが、メールや SNS 等の文明の利器の発達と共に希薄になりがちな人間関係をより鍛えることができる環境がこの業界にはあることから、セメントの若い世代も是非これを経験する機会を増やすべきであると感じている。他方、東関東をはじめとして各協組の地区需要はピーカ時に比較して半減若しくはそれ以下であり、言い表せない程に厳しい環境下にある。これも施工方法の変更や国内人口の減少などによる時代の変遷であることから、今後の需要が大きく増加することは期待出来ない。

・好むと好まざるとに関わらず時代は流れしていくものであり、生コン業界も時代に押し流されぬ様、業界発展のため微力ながら誠心誠意、分相応に尽力したい。



《技術系》

=交通安全・運転手教育=

「交通安全・運転手教育」研修会開催



～納入品質向上(交通事故ゼロ)に向けた取り組み～

去る 10 月 4 日に東関東協組としては、初めての取り組みとなる「交通安全・運転手教育」研修会が、各社・各工場から理事・工場長・出荷担当者の 35 名が参加して開催されました。

協組では技術幹事会の中に新たに交通安全部会を設け、納入品質向上対策の一環として、「交通安全・運転手教育」への取り組みを開始しており、その手始めとして、株式会社アスア様から講師を招いて研修会を行ったものです。

研修会の中では、生コンミキサー車輌の運転手に特化した教育に関するプログラムの紹介があり、また同社のツールを使ったコミュニケーションゲームを行いました。

生コン輸送については、運転手の離職者増加・高齢化によって必要な運転手員数を確保できない状況の下、得意先の納入現場へは安定供給が求められています。

引き続き、協組では納入品質の向上を目指して、様々な諸施策の検討・実施を行なっていく所存です。

《技術系》

第9回 工場長会議開催



10 月 4 日に協組会議室において、第 9 回工場長会議を開催しました。

冒頭、小野理事長より来年 2 月 1 日からの生コンクリート価格改定に対する経過を報告し、各工場長に対しては、「安心・安全を守る高品質の達成」に対して一層の努力を行なって欲しいとの挨拶がありました。

同日行われた研修を受けて「交通安全・運転手教育」について各工場から状況報告を行ない、東関東協組としての今後の取組みについて討議を行ないました。

平成 29 年度実績

月	28年度 実績	前年 実績比	29年度 想定	29年度 実績	前年 実績比	想定比
4	44,230.80	83.11	43,000	34,943.75	79.00	81.26
5	39,010.20	85.34	43,000	27,294.55	69.97	63.48
6	56,610.60	107.64	47,000	34,131.60	60.29	72.62
7	65,479.95	130.35	48,000	29,517.50	45.08	61.49
8	44,145.95	114.86	42,000	28,618.20	64.83	68.14
9	41,735.35	78.76	47,000	32,617.90	78.15	69.40
上期合計	291,212.85	99.33	270,000	187,123.50	64.26	69.31
10	43,096.20	62.95	49,000		0.00	0.00
11	45,964.35	77.91	48,000		0.00	0.00
12	43,798.75	81.38	49,000		0.00	0.00
1	35,913.60	80.47	41,000		0.00	0.00
2	40,664.35	101.52	44,000		0.00	0.00
3	42,887.60	90.28	49,000		0.00	0.00
下期合計	252,324.85	80.50	280,000	0.00	0.00	
年度計	543,537.70	89.60	550,000	187,123.50		

《広報紙委員長のつぶやきコラム》

火の用心 !!

最近めっきり涼しくなりましたが、これから時期寒くなると火を使うことが増えますよね…

気を付けなければいけないのが火の元です!!

ストーブやガスコンロ、煙草の消し忘れ等で起き易いのが火事です。

身の周りを気にしながら自分の身は自分で守りましょう。

「防災で 守る地域と みんなの笑顔」

東京消防庁 防災標語 吉田清隆(杉並区在学)



株式会社 西野建材
常務取締役 西野光義

[お詫び]

紙面の都合上、今回の「ぶらり東関東」は休載致しました。